

洛東園 だより

■平成21年7月発行 社会福祉法人 洛東園
■発行責任者：木村晴恵
■〒605-0981 東山区本町15丁目794
■電話番号：561-1171 ■FAX：531-8372
■ホームページアドレス <http://www.wf-rakutouen.com>

ご挨拶



社会福祉法人 洛東園 園長 木村 晴恵

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

今年も洛東園敷地内の「紫陽花」が美しく咲き、七色の変化で楽しませています。この紫陽花は、私が当園に勤務を始めた30年前からあり、当時の養護老人ホームで暮らしておられた入居者の方々が、挿し芽をして増やされたものです。その間園内の改修等で少なくなってしましましたが、東側通路の横は大きくなっています。一度ご覧ください。

さて、当法人の「平成21年度事業計画」が理事会で承認を受け新たに動き始めました。東山区民新聞等で、既にご承知のこととは存じますが、

約2年後の開設に向けて「ユニット型特別養護老人ホーム」に取り組むこととなりました。工事期間中は地域周辺の方々に多くの迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力を願いし東山区において二つ目の特養開設に努力していきたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

これも、前述の「紫陽花」が長年かかって少しづつ増え美しく咲くように「洛東園」が約60年の間、大本山東福寺と地域の方々のご支援、ご協力とこれまで法人運営を維持、継続してこられた役職員の方々の努力の賜物であると思います。

今後ともご意見、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

- 個性・自主性を尊重し明るい温もりのある生活
- 安全と快適な暮らし
- 地域に根ざした開かれた施設

洛東園の理念

□養護老人ホーム 出会いと別れ

養護老人ホームは、65才以上の方で環境上の理由及び経済上の理由で家庭において生活が困難な比較的健康な方にご利用して頂いています。養護老人ホームにおいて今年4月末にて1人の利用者が退園されました。残りの人生を自分なりに違った形で楽しみたいという思いからです。

長崎県にて出生されてから諸事情により若くして両親と別れ別れになり洛東園に入園されるまでにはさまざまな職を経験されました。しかし、1人でいる寂しさからくるアルコールでの生活の改善と病気による体調面の不安等もあり、縁あって平成17年から4年と数ヶ月の日々を養護老人ホームにて過ごされました。入園当初は長い独居生活から他利用者及び職員との関わりに不安をもっておられましたが、日常のさまざまな関わりのなかで人ととの信頼関係を結ぶことで少しずつ互いの距離を縮めていかされました。同室者の病気を真剣に心配し職員へ逐一状況を説明されたこともあります。また録画していた時代劇のビデオ上映会の時には他利用者に「好きなん録画してもらったんやし真ん中に座りや」と言われ、はにかみながら席につかれる姿が今も強く印象に残っています。また、養護の為にと朝食準備や夕食後の下膳などのボランティアにも精力的にご協力して頂きました。

再び残りの人生を一人で過ごすこととなり、洛

東園での生活を振り返ってこう話されています。

「団体生活には少し気をつかっていたこともあった。やりたいこともあったができないことも多々あった。しかし、他の人(利用者・職員)も助けてくれていたし、ありがたかった。養護の一員となり“ちから”をもらった。入園する前より今度は『長生きして楽しみたい』という気持ちで一杯、頑張ろうと思う。それが一番変わった点だと思う」。

今回紹介させて頂いた利用者以外にもそれぞれに人生があります。利用者一人ひとりの生きてこられた道のりや思いを日々感じながら 利用者さん達と向き合っています。また、新たな第一歩という意味での“別れ”は私たち職員への励みとなっています。これからも一人ひとりとの出会いや別れを大切に、利用者さんを少しでも理解していけるよう職員一同心掛けていきます。



□特別養護老人ホーム 七夕の願い事

7月7日は七夕です。七夕というと、『織姫と彦星が一年に一度会える日』で有名です。では、なぜ七夕の日に願い事をするようになったのでしょうか。

もとは中国から伝わったお話です。綺麗な布を織ることで有名な織姫は、彦星と結婚しましたが、嬉しさのあまり心が浮き仕事しなくなりました。初め神様も目を瞑っていましたが、あまりにも仕事をしない為、神様は怒りをあらわにし、二人を天の川の端と端へ別れさせてしまいました。しかし、心を入れ替えて仕事をするのであれば年に一度会うことを許しました。会う事を許された日に二人が無事会えるように願ったことが始まりだそうです。

特別養護老人ホームでも、七夕には短冊に願い事を書き筒へ吊ります。「懐かしいわ」と昔を思い出しながら、家族や、自分の健康であったり、趣味や特技をいつまでも楽しめるように等、心を込めて願います。

短冊に綴る願い事は一言ですが、利用者の普段の会話や日々の様子から、願い事の裏には利用者一人ひとりの深い思いが詰まっているように感じます。皆さんの願いが叶うように私たちも一緒に願いたいと思います。

いつまでも健康で
いられますように！

離れて暮らす息子さんに会うことを
とても楽しみにされており、元気の
源になっている様です。息子さんに
会う為にも、いつまでも元気で過ご
して頂きたいです。

いつまでも美味しく
ビールを飲めますように。

いつまでも娘や孫の
笑顔を見
て
い
た
い。

満面の笑みを浮かべ、大好物
のビールを飲む姿は、とても幸
せそうです。これからも大好き
なビールを美味しく飲めるように、
健康第一で過ごして下さるこ
とを願っています。

娘さんや、お孫さんが笑顔
で過ごしていられるのは、き
っとこの方の笑顔があるか
らだと思います。いつまでも
笑顔を絶やさず過ごして頂
きたいです。

□デイサービスセンター たくさんの思い



もうすぐ『七夕』ですね。七夕というと、夜空に輝くたくさんの星が集まり、大きな一本の帯を作るという「天の川」を思い浮かべます。この「天の川」を思い、少しデイサービスのお話をさせて頂きます。

デイサービスを利用して頂いている皆様一人ひとり、色々な思いが集まり、一日の流れを形作っています。その「思い」のほんの一部を紹介させて頂きます。

登場人物紹介

(すべて仮名です)

佳代子さん

リーダー的存在、ぐいぐいと皆さんを引っ張っている

花絵さん

控えめではあるがしっかりもの

静子さん

おっとりしていて、いつもにこやか

ある日の壁面細工を作成している場面での会話より。

佳代子さん：「花絵さんあんたちょっとここの部分担当して」

花絵さん：「嫌やわ、あんたこそここやり」

静子さん：「でも花絵さんあんた手先器用やし
ここがえんとちゃうか」

花絵さん：「そうか」(何故かちょっと嬉しそう)

そしておしゃべりをしながら作業をしている途中、職員が静子さんを入浴にお誘いすると

佳代子さん：「今、静子さんが抜けると困るわ」

静子さん：「私はここにお風呂に入りに來てるのよ」

佳代子さん：「あんたこの前ここにはボケ防止のために來てる
言うてたやないの、もうボケて忘れてしもたんか」。



(一同笑い)

デイサービスはこのような一人ひとりの沢山の「思い」が集まり、大きな一本の川の流れを作っているように思えます。その大きな川の流れの中で、時には激しく利用者同士の「思い」がぶつかり合い、時には緩やかに融け合っています。デイサービス職員は、一人ひとりの思いに耳を傾け、送迎、入浴、食事、体操、レクリエーション等、一日の様々な場面の流れを通して、毎日明るい笑顔で、皆様の「思い」と「思い」の架け橋になれるよう日々精進してまいります。

□訪問介護 一期一会



ヘルパーの仕事をしていると色々な方との出会いとそしてお別れがあります。最近も長年訪問していた方とのお別れがありました。

その方はご自分の意思で慣れ親しんだ大好きな自宅で暮らしておられました。昔は華道の先生で婦人会でも活躍され、凜とした綺麗な方で、自分の服も自ら縫われる、お洒落な方でした。

新米の頃、排泄介助等、身体に触れることが許されず「何をしている。早う出て行きよし」と叱られました。どんなにお願いしても受け入れてもらえず、電話で応援を頼んで先輩に来て頂きました。

先輩の問い合わせに対し、新米のヘルパーをからかい困った様子を楽しんでおられるかのように「クックク」と肩を揺すり笑っておられました。何度か訪問し慣れてくると「上手になったなあ」とお褒めの言葉を頂きました。



その当時を振り返って

飴とムチを心得た方でした。色々な方に出会い、冷汗をかいたり、大声で笑いあったりして利用者との距離を縮めていくこうとしていたのだと思います。

先輩のコメント

ヘルパーは施設やデイサービスとは違い、利用者の生活している場所へ訪問し援助を行っています。ヘルパーが『利用者を理解しよう』とするように、利用者も『自分の家に来るヘルパーはどんな人だろうか』と思うはずです。この利用者は、新米ヘルパーに対して、援助の際に必ず何回かは拒まれる方でした。決して本当に嫌だった訳ではなく、その方なりのコミュニケーションのひとつだったと私は思っています。

最近「一期一会」という言葉をあらためて聞くようになりました。

茶道の心得と聞いておりますが、あらゆる出会いを生涯にただ一度と考え、大切にする心がけを表す言葉だそうです。

「一期一会」を心において、身近な人に優しく接していくといきたいと日々心がけております。

□居宅介護支援事業所 東福寺とそうめん



七夕にあたる、現在の暦の7月7日頃は、ちょうど梅雨前線が本州あたりに停滞するため、ここ10年の間1~2回しか晴れていません。

東福寺方丈に、「北斗の庭」と呼ばれる、北斗七星をかたどった庭があるのをご存知でしょうか。北斗七星に見立てた石は、もとは東司(便所のこと)の柱石を利用したものです。天の川を表現した生垣が後方に配され、雲紋様の地割に星が煌めく、まるで夜空が足元に広がるかのような眺めです。雨の多い季節に星空を偲ぶのもいいかもしれません。

東福寺といえば、開祖が宋代の中国から麺の技術を伝えたことでも有名で、今もそうめんを供える行事が残っています。



東福寺 方丈 東庭
(北斗の庭)

そうめんは七夕にも深い関わりがあります。「七夕」は「棚機たなばた」からきており、機を織る織姫にあやかって、「機織はたおりがうまくなるように」という願いを込め、昔の人は糸に見立てたそうめんを飾ったそうです。

そうめんなら口当たりよく、食欲のない時期にも食べやすいですが、薬味を合わせることで体にいい食事にもなります。暑さで弱った体を癒し、体調に合わせた薬味を上手に選んで、健やかに過ごして下さるよう願っています。



<薬味のもつ性質>

性 質	薬 味
体を冷やす	きゅうり、みょうが、トマト、ほうれん草、みつば
体を強く冷やす	なす、海苔、わかめ、大根おろし
疲労回復	梅干
スタミナをつける	卵、とろろ、鶏肉
消化促進	青じそ、オクラ

◆事業活動収支計算書

(自)平成20年4月1日(至)平成21年3月31日

(単位:円)

支出の部		収入の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
人件費支出	461,606,378	介護保険収入	523,240,411
事務費支出	124,621,616	措置費収入	179,247,622
事業費支出	108,024,353	診療報酬収入	21,347,572
減価償却費	28,520,581	その他の事業収入	57,678,043
退職給与引当金繰入	6,119,608	補助金収入	2,186,516
		寄付金収入	8,417,418
		雑 収 入	2,855,239
		引当金戻入	12,301
		国庫補助金等特別積立金取崩額	19,713,476
事業活動支出計	728,892,536	事業活動収入計	814,698,598
借入金利息支出	266,482	借入金利息補助金収入	266,482
会計単位間繰入金支出	16,000,000	受取利息配当金収入	875,907
経理区分間繰入金支出	14,239,652	会計単位間繰入金収入	16,000,000
雑 損 失	2,678,462	経理区分間繰入金収入	14,239,652
事業活動外支出計	33,184,596	事業活動外収入計	31,382,041
固定資産処分損	3,419,882	施設整備等補助金収入	2,700,000
その他の特別損失	596,285	その他の特別収入	923,986
国庫補助金等特別積立金積立額	30,000,000		
特別支出計	34,016,167	特別収入計	3,623,986
次期繰越活動収支差額	920,601,952	(当期活動収支差額)	53,611,326
		前期繰越活動収支差額	719,918,524
		その他の積立金取崩額	147,072,102
支出の部合計	1,716,695,251	収入の部合計	1,716,695,251

◆貸借対照表

平成21年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
流 動 資 産	728,600,085	流 動 負 債	28,910,681
固 定 資 産		固 定 負 債	35,750,460
基 本 財 産	403,584,534	負債の部合計	64,661,141
その他の固定資産	183,772,049	純資産の部	
		基本金	143,995,429
		国庫補助金特別積立金	141,988,243
		その他の積立金	44,709,903
		次期繰越活動収支差額	920,601,952
		(うち当期活動収支差額)	53,611,326
資産の部合計	1,315,956,668	純資産の部合計	1,251,295,527

洛東園の行事予定

施設名	月	7月	8月	9月
養護老人ホーム		七夕会	納涼夏祭り 施餓鬼法要	敬老祝賀式
特別養護老人ホーム		買い物ツアーハウス	ビアパーティ 施餓鬼法要	敬老祝賀式 彼岸法要
デイサービスセンター		納涼会	盆踊り	敬老祝賀式
もみじの家		七夕会・納涼会 貞教まつり	地蔵盆・盆踊り 夏祭り	お月見 敬老祝賀式
全 体		特養避難訓練	施餓鬼法要	総合防災訓練 東山自衛消防大会

その他、クラブなども随時行っております。

ホームページが新しくなりました!!

本年4月に洛東園ホームページが新しくなりました。

各事業所ごとの詳細、行事を写真入りで紹介など、温もりある雰囲気で、且つ見やすいデザインに一新しました。出来るだけ最新の情報に更新していく予定です。
アドレスも変更になりました。ご注意いただき、是非ご覧ください。

◎新ホームページアドレス <http://www.wf-rakutouen.com>

苦情委員会

今年度もアンケート調査を行わせて頂きます。サービスの質向上に向けての参考にさせて頂きますのでよろしくお願いいたします。アンケートは9月初旬、お手元に届く予定です。皆さんのご意見をぜひお聞かせください。



編集後記

今回のテーマは「七夕」です。子供の頃、七夕の夜に願い事を書いた短冊を笹の葉に飾り、織姫と彦星の一年に一度の出会いをお祈りした事を思い出します。いつの日からか七夕も意識しなくなりましたが、旅先の山中で見上げた夜空に敷き詰められた星が、散りばめられた宝石の如くあまりにも美しかったので、子供の頃に思い描いた織姫と彦星のロマンを思い出しました。この美しい星空が永遠に続くように願っています。

(広報委員一同)



洛東園だより

発行／社会福祉法人 洛東園

〒605-0981 東山区本町15丁目794

電話番号：561-1171 FAX：531-8372

ホームページアドレス

<http://www.wf-rakutouen.com>

※尚、記事中の写真は全てご本人様、ご家族様の承諾を得て掲載しております。